

下郷・半田の踏切、高架の考えは

藤井 彰 議員

質問 下郷の踏切、半田の踏切を歩行者の安全、交通の緩和、事故防止などの観点から高架にする考えがあるか。

回答 高架については、道路管理者である県が道路事情等の実態を把握し、隣接地に与える影響や事業効果等から総合的に判断すること。

とになりますが、県に問い合わせたところ、立体交差化を行う考えはないとのことであり、市としても、交通の安全や渋滞の緩和に有効的な手段とは考えていません。現状では立体化の要請を行う考えは持っておりません。

号、踏切との連携する、朝夕の慢性化した交通渋滞の対策は。

回答 現時点では、市として具体的な取り組みは考えていませんが、今後どのような対策を講じるか、県の動向を見ていきたいと考えています。

一定以上に上昇した場合に、無線広報等で周知するとともに、土木事務所等の情報交換を密にしながら、現地の状況を頻りに把握したうえで、公園内の立ち入りを禁止するなどの対策を講じていきます。



下郷の踏切

一人一人へのきめ細かな対応を求める

金子 渡 議員

障害者自立支援法への対応 質問 4月1日から障害者自立支援法が施行された。障害程度区分認定や個別支援計画の作成状況は。

回答 障害程度の区分認定対象者は、居宅サービス対象者で、延べ214人、通所サービスを除くと実質人員は145人です。

質問 障害程度区分認定の二次判定と10月から始まる相談支援はどのように実施するのか。

回答 二次判定は審査会で行いますが、相談支援事業は事業者協議会（NPO）に委託予定です。

削減される。市の対応は。

り、要支援認定の通所、ヘルパー利用が制限された。これで介護予防になるのか。



NPOによる相談支援室

税収対策・ゴミ収集・少子化対策について

新井 晟久 議員

質問 市税、国保税など税滞納は年々増え、徴収体制強化は急務です。徴収強化策、差押え物件、ネット公売、コンビ二納税、夜間徴収窓口時間延長、休日特別窓口の開設、フレックス勤務などの状況をお聞きします。

回答 差押え物件は預貯金

動産、不動産です。ネット公売は本年度、コンビ二納税は来年度導入予定です。夜間窓口の延長、日曜窓口の拡充、フレックス勤務での夜間徴収は検討課題です。ごみの祭日収集

県内各施設と同様、渋川地区清掃センターも祭日収集をしてほしい。また、搬入時間の見直しをすべきだと思いますがいかがでしょうか。

国は出産育児一時金支払いを直接医療機関に支払う受領委任払い制度を決めました。親の家計負担軽減のためです。市の考えは。また、不妊治療費助成制度を考へるべきだと思いますがいかがですか。



ゴミの収集作業

市マイクロバスの有効活用と新たな観光ルートについて

茂木 弘伸 議員

質問 合併を控えた平成17年度新たに購入したマイクロバスは旧地区ごとに何台あるのか。合併後各支所に配置されたバスの台数は。

回答 小野上は福祉バス2台、他の支所は各1台購入。合併後の庁用マイクロバスの台数は、赤城が2台で他の支所は各1台です。

質問 支所のバス管理は各支所で行われているが、使用実績、運転職員数は。本庁支所間の利用に関して庁内LANで予約できるのか。

回答 使用実績は伊香保72日、小野上35日、子持103日、赤城260日、北橋101日、運転手は赤城が2名で他は各1名です。庁

内LANの予約は可能です。質問 一定のルールの下、新市の児童生徒の大会行事への活用は。また、各地区の伝統行事イベントへの参加送迎等、新市一体感醸成の道具としては。

回答 庁用マイクロバスは本庁支所の相互利用や貸出し団体等の統一など、貸出し形態を整理し有効活用を図っていきます。

他地域のルートの考えは。

回答 健康志向の人にハイキングコースを、グルメ志向の人に果樹・農産物情報を、というように多様なコースを設定していきたい。



有効利用が期待されるバス